

2012年1月23日発信

大学生 A さんの意見表明（その 1）

**私が出会った新任教師（担任）のように
私は、1人の教師である前に、1人の人間でありたい**

夜分遅くに申し訳ございません。愛知教育大学3年のA（ ）です。

本日は、前回の授業まで扱っていた「生徒とつながるために必要なこと」について改めて感じたことがあり、メールをさせていただきました。

私が小学校5年生の時、新任の先生が担任になりました。
とても真面目な方で、子どもの私でもその懸命さは感じていました。
秋になる頃くらいだったと思います。
私のクラスで、1人の男の子が陰でいじめられ始めました。
担任の先生は、いじめを知り、すぐ学級で話をされました。

「先生は悲しいです。人に嫌なことをする人がこのクラスにいること。
それを笑ってみているだけの人がいること。
そして泣いている人に気づかない人がいることが。
本当に本当に悲しい。」
と、泣きながら私たちを叱られました。

なんてまっすぐな人なんだろうと思いました。
また、私が先生を1人の人としてみるようになった瞬間でした。

先生は、先生として叱られているのではなく、人として私たちを叱られているのだと感じました。今でも、このときのことは鮮明に覚えています。

前回の授業で、生徒とつながるためにはありのままの自分で接することが大切だと気づきました。嬉しい、悲しいといった素直な感情を生徒にちゃんと伝えたり、時には、私の担任の先生のように涙を流すこともあっていいと思います。

きっと生徒は、教師としてではなく1人の人として教師が伝えていることにきづくと思います。私は、1人の教師である前に、1人の人間でありたいです。
生徒の1日の生活の中で、教師は大半の時間を共に過ごし、私の人間性が、生徒に影響を与えることもあるからです。
「先生みたいな人になりたい」と言われるように、日々これからも努めていきたいと思っています。

長文になってしまい、申し訳ございません。
山口先生の授業を通して、私は多くのことを身につける決意でいます。
授業も残り少なくなりましたが、全力で臨む覚悟です。
最後まで読んでくださり、ありがとうございました。
次回の授業も楽しみにしています。よろしくお願いします。

2012年2月9日発信

大学生 A さんの意見表明 (その 2)

無知のまま教師になることほど怖いことはない

本日は、福岡県の城南高校のビデオを観て思ったことがありメールをさせていただきました。

私は、教師になることが夢です。先日お話しした小学校の担任の先生への憧れが、きっと私の夢に直結していると思っています。

夢をかなえるために、私は教員採用試験に備え日々少しずつですが勉強をしています。しかし、今日の授業を受けて、勉強への姿勢を変えなければならないと感じました。なぜなら、私は試験に受かることを目標として勉強していたからです。

今日の授業を受け、私はこの考え方は間違っていたと考えさせられました。将来を見据えて勉強することが大切なのであれば、教員採用試験に受かるためではなく、教員になったときにその勉強したことをもとに児童生徒を指導あるいは育てていくために私は勉強をする必要があるのだ、と感じました。無知のまま教師になることほど怖いことはないです。

また、この考え方に気づいたことによって勉強することへの抵抗がなくなりました。「～しなければならない」という考えのまま身につけたことは、その場限りのものでしかなく、本当は身につけていないと思います。逆に「～に役立てるためにしよう」という思いで勉強したことは、年を経ても忘れていかないものだと考えます。

私は、この考え方にもっと早く気づくべきだったと反省しています。しかし、気づくことができよかったですとも思っています。

山口先生の授業もあと残りわずかとなってしまい、とても残念です。残りの2回の授業も真剣に取り組み、多くのことを学び、考えたいと思っています。

長文になってしまいましたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。次回の授業も楽しみにしています。

掲載にあたって

上記ふたつの意見表明 (メール) は、私が担当する 2011 年度後期授業 (教職科目) 「生活の指導と相談 A」の受講生 A さんが発信してくれたものです。この意見表明を多くのひとに紹介したいと思ったのは、A さんが授業を超えた学習課題に向き合っていたこと (それが大学での学びでしょうか) と、その内容が教師をめざす学生 = < 未来の教師 > にとって重要なことを問いかけていたからです。

紹介を快諾してくださった A さんに感謝いたします。 山口 正